

てんかん認定通信

2017.9月発行 てんかん院内認定看護師

暑い季節が過ぎ、朝晩少しずつ涼しくなってきました。季節の変わり際は、体調を崩しやすい時期です。皆様体調管理には気をつけてお過ごしください。

てんかん患者様の治療において服薬は大きな役割を果たしています。服薬を正しく続けることは、発作を減らし生活の質を向上させる近道になります。

ということで、今回は成人病棟でおこなっている服薬指導について、ご紹介させていただきます。



当院での服薬指導の特徴は、グループワークを取り入れていることです。6名程度のメンバーでグループを構成し、自分自身の経験などをもとに、正しい服薬方法についての意見を出し合います。さまざまな研究により「集団による討議は知識が定着しやすく、継続に繋がる」ことが明らかにされているように、グループワークに参加された患者様方には、主体的に考えることにより理解や意欲を高める良い機会となっているようです。

ちなみに、グループワークの前には、服薬方法に関するビデオを鑑賞していただきます。また、看護師が介入するため完全なる討議とはいきませんが、正しい知識を身につけることができる確実な学びの場となっています。



服薬に関する個別指導

必要時、看護師による個別指導をおこないます。

自分の薬の内容や錠数を看護師と共に確認の上、薬箱に準備して、正しい時間に確実に服用します。服薬管理を実践しながら服薬の方法や注意点を学ぶことは、更に知識や意欲を高めることに繋がります。

正しい服薬方法を習慣化することは、発作がある人にとっても、お薬で発作が落ち着いている人にとっても、自分自身を守るための大変重要な手段となります。

てんかんと上手に付き合っていくためには、さまざまな、自己管理が必要となります。薬の管理もその一つですが、発作を減らすためには、生活習慣やその他にも工夫しなければいけないことがあります。患者様の生活を見ながら、必要な助言をさせていただくことが看護師の役割です。

今後も、患者様と正面から向き合いお付き合いしていきたいと思っております。

てんかん看護院内認定看護師 田尻

